

一般社団法人移行のご報告

皆さま方には日頃から劇団前進座にお力添えいただきまして、誠にありがとうございます。
昨年中村梅之助代表、そして最長老の中村鶴蔵先輩を失いましたが、お陰さまで第四世代の若手が皆さまのお目にとまるようになり、山田洋次監督の監修・脚本『裏長屋騒動記』も、新たな世話狂言として第三・第四世代で上演いたしましたところ、ご好評をいただきました。これもひとえに、ご見物皆さま方のお陰と、改めて厚く御礼申し上げます。

とはいえ、この劇界の荒波を、独立劇団として乗り越えて参りますのは並大抵のことではございません。

このたび、6月1日をもちまして、劇団前進座は一般社団法人に移行いたしました。

昨年来討議を重ねまして、前進座ビル等の不動産を管理する劇団前進座株式会社と、劇団本来の目的「座員の生活を保証しつつ、広範な民衆の進歩的な要求に適合する演劇の創造」をより明確にするために、興行部門の活動に専念する「一般社団法人劇団前進座」とを分離いたしました。

法人は分社化いたしましたが、1931年創立の前進座、その根幹にある創造の魂にはまったく変わりはありません。劇団活動そのものは、演技部・文芸演出部・各営業所を含む制作部・映画放送宣伝部等、そのまま一般社団法人に移行しまして、従来と変わりなく執り行います。

今後はより一層精進を重ね、創作内容の充実に努め、多くのお客様に愛される劇団として「文化及び芸術の振興を目的とする」公益社団法人への認定を目指し、さらに前進して参ります。なにとぞご理解賜りまして、倍旧のお力添えをお願い申し上げます。

一般社団法人

劇団前進座代表理事

藤川矢之輔